

69

ソバにおける茎の成長, 開花, 花房の形態および結実におよぼす日長の影響
道山弘康*・土本敬二・谷賢一郎・平野達也・林久喜¹⁾・C.Campbell²⁾
(名城大学・¹⁾筑波大学・²⁾Kade Research Ltd., Canada)

日本作物学会紀事
(Jpn.J.Crop Sci.)
73巻(別2号)
2004年

Influence of Day Length on Stem Growth, Flowering, Morphology of Flower Clusters, and Seed-Set in Buckwheat.

H.Michiyama*, K.Tsuchimoto, K.Tani, T.Hirano, H.Hayashi¹⁾ and C.Campbell²⁾
(Meijo University, ¹⁾University of Tsukuba, ²⁾Kade Research Ltd., Canada)

ソバにおいて主茎の伸長, 開花, 花房の形態および結実のさまざまな成長パラメータが日長時間の違いによっていかなる変化を示すかを明らかにし, それらの品種間差異について明らかにした。

[材料と方法] 普通ソバ夏型品種の「しなの夏そば」, 秋型品種の「宮崎在来」, カナダのKade Research Ltd.に保有されている枝分れ(DM花房)が多発し花房の長い系統である「BLO1999」を, 2003年8月28日に1/5000 aワグナーポットに5粒ずつ播種した。白熱電球で朝夕補光し, 13, 13.5, 14, 14.5, 15, 15.5, 16時間の日長処理区および播種期の13時間5分から日長時間が徐々に減少する自然日長区を設定した。

[結果と考察] 日長時間が長くなると, 主茎の伸長期間が増加し, 初花節が高くなって開花始期が遅れ, 咲き上がり速度が低下し, 開花数が増加し, 子実数が減り, 結実率が低下した。本研究ではDM花房が増加し, 小花房数が増加し, 花房が長くなることもわかった。これらは「BLO1999」だけでなく, 日本の品種「しなの夏そば」「宮崎在来」でも同様であった。各パラメータは日長時間の違いに対する反応のしかたが異なったが, 3種のパターンがみられた。夏型と秋型の品種間差異は1) 主茎の伸長経過, 2) 初花節と開花始期, 3) 咲き上がり速度, 4) 子実数と結実率にみられたが, それらには4種のパターンがあった。



